

blanClass

3rd anniversary

頭も、からだも、心もガンガンつかって考える

blanClassの活動も3年がたちました。そこで10月は3周年記念企画が目白押し。土曜日のLive Artは、最初の1年にお呼びしたアーティストから、LPACKが「住まう」ことについて、池宮中夫が「インストールされる身体」として、ともに「空っぽの教室 (blanClass)」という開かれた密室で思考をチャレンジする。3周年記念パーティーでも、blanClassではおなじみの3人のアーティストたちが、それぞれのツールを駆使してノージャンルに展開。最後の週はアーティストとダンサー (振付家) の異色ユニット、前後 (高嶋晋一+神村恵) が登場し、4年目の活動が粛々と続いていきます。

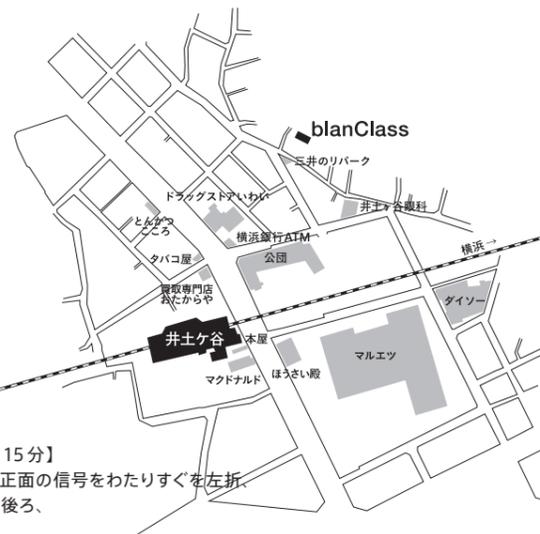
さらに4年目に向けて金曜日の夜にも、この秋からスタートするblanClass拡張計画!!!のプレトークを企画。CSLAB + blanClass学生ナイト vol.8 [代替energy]参加者もまだまだ募集中です。

「blanClass拡張計画」とは、土曜日に収まりきらないレクチャーやトークなどをほかの曜日に移して展開する試みのこと。

それぞれ月1回のシリーズ、11月からは、2つのCAMPトーク [translations] (木曜夜) と [真夜中のCAMP] (土曜深夜)、杉田敦 [ナノ・スクール] (金曜夜) が、1月からは、真島竜男レクチャー [どうして、そんなにも、ナショナルなのか? (仮)] (金曜夜) がはじまります。毎週水曜夜には、秦雅則 [BC写真大学]も開校? します。

「頭も、からだも、心もガンガンつかって」とは秦雅則のBC写真大学について書かれたことば。前回、前々回のチラシには「からだをつかって考える」という文章を寄せましたが、これからは、持っているものをフル稼働して全天候型にいきましょう。

小林 晴夫



ブランクラス

Live Art & Archive
〒232-0006 横浜市南区南太田 4-12-16-2F
info@blanclass.com
ディレクター: 小林 晴夫 波多野 康介 三木 義一
http://blanclass.com

アクセス【京浜急行線一品川駅から約35分、横浜駅から約15分】
京浜急行 [井土ヶ谷駅] (横浜駅から普通下り5駅) 改札出て正面の信号をわたりすぐを左折、1つ目の交差点を右折、2つ目の角を左折、三井のリパーク後ろ、blanClass看板がある細い段々を上がって右の建物2階

2012 10 Live Art on Every Friday & Saturday

sun.	mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.
	1 LPACK open house 13:00-20:00 無料	2 LPACK open house 13:00-20:00 無料	3 LPACK open house 13:00-20:00 無料	4 LPACK open house 13:00-20:00 無料	5 LPACK open house 13:00-19:00 無料 杉田敦 19:30- 1,200円/学生1,000円	6 LPACK open house 13:00-19:00 無料 LPACK supper 19:30- 1,000円 [カレー付]
7	8	9	10	11	12 CAMP/成相肇 19:30- 1,200円/学生1,000円	13 池宮 中夫 19:30- 2,000円/学生1,500円
14	15	16	17	18	19 真島 竜男 19:30- 1,200円/学生1,000円	20 BBQ 17:00- 1,500円/学生1,300円
21	22	23	24	25	26 秦 雅則 19:30- 1,000円	27 前後 19:30- 1,500円/学生1,300円
28	29	30	31			



10.6 | LPACK

10.13 | 池宮中夫

10.20 | 真島 竜男

10.27 | 前後

3周年特別トーク企画!!!

10月の金曜日は、blanClass拡張計画-Weekdayシリーズのイントロダクション。

10.5 | トーク

杉田敦 [ナノ・スクール《nano school》について]
start 19:30 ¥1,200 / 学生 ¥1,000
ナノ・スクールは、極小の学校。スクールや人数の意味ではなく、コンテンツとして極小。教えられることを、これ以上ないまでに小さくしてみる。近代の理性は必要だったのか? じゃあ一回手離してみよう。本当の意味でそれができるのは、アートだけなのかもしれない。的なところから始めてみる!

10.12 | トーク

CAMP/成相肇 [悪の技術]
start 19:30 ¥1,200 / 学生 ¥1,000
関係を主題に論ずる芸術に数あれど、その大方が掲げる「善き」関係は、窮屈と退屈で編まれた世の道理に収まるが落ちでありましよう。まして直近の大災厄を受けて、みな揃って善に眼差しを据えているいま、言うことを聞かぬ芸術の悪しき良心に従って、きびすを返してまっしぐらに走る次第でございます。ゼンポだけが道じゃなし。後方確認悪口 (アック) オーライ、いざ、不幸なる芸術へ。(皆様にも悪の技術について教えます)

10.19 | レクチャー

真島 竜男 [フィールドとしてのナショナル]
start 19:30 ¥1,200 / 学生 ¥1,000
2013年1月からスタートする真島竜男連続レクチャー「どうして、そんなにも、ナショナルなのか? (仮)」のイントロダクション。ナショナル (国民的、国家的) なものの視点から、近・現代美術を問う。明治期の日本、18-19世紀のアメリカ、太平洋戦争中戦後の東アジア、現代の日本、の4つの時代と場所を主題に論じます。

10.26 | 開校記念パーティー

秦 雅則 [BC写真大学、開校記念日]
start 19:30 ¥1,000
私は、秦雅則です。この愉快な写真学校の校長です。校名はBC写真大学。BCとは、ブランクラスのBCであり紀元前のBCでもあります。今のところ、講師は一人もいません。私達は愉快な芸術家、もしくは美術家、ましてや写真家となるのです。そのためにも、頭も体も心もガンガン使って、私達の学校を作りましょう。そして、いつかの卒業のときには、貴方達は貴方達の世界をもち時代をもつことを約束しましょう。

Live Art

毎週土曜日は、Live Art + 公開インタビュウ。ワンナイト完結の、どんなさでもありのアーティストイベント。おいしい軽食 (無料)、飲み物 (有料) をご用意しております。

10.1-6 | 建築

LPACK [小さな家]
10.1-10.6 | open house
13:00-20:00 (金土のみ19:00まで) | 無料
10.6 | supper | 19:30- | ¥1,000 (カレーつき)
「小さな家」とは建築家ル・コルビュジェが建てた彼の母のための家です。コルビュジェの母の生活に必要な最小限の機能を備えたその家で、彼の母はピアノを弾いたり、陽の当たる大きな窓から湖や遠くの山を眺め、穏やかな日々の暮らしを楽しみました。空っぽの教室と名付けられたこの場所で僕たちは、自分たちの最小限の機能について考えながら暮らしてみようと思います。この一週間は家を開放しているので、いつでも遊びに来てください。土曜日の夜は、皆でカレーを食べながら僕たちの小さな家での暮らしを振り返ります。 ※会期中の暮らしはUSTREAMやブログで発信する予定です。

10.13 | ダンス

池宮 中夫 ダンス ソロより [愛-空 LOVE-SKY]
open 18:00 start 19:30 ¥2,000 / 学生 ¥1,500
照明・演奏: 豊永 恭子 音響・演奏: 澤井 環
キミドリの谷に向かって下降していた。翻りく死或は生の行列だ。右からの声は上昇する微笑。不可視の身体が雲に隠れる。ー続

10.20 | パフォーマンス・パーティー

[blanClass 3周年記念BBQパーティー]
party start 17:00 performance start 18:00
¥1,500 / 学生 ¥1,300
blanClassもやっつ3年。恒例のBBQパーティーでお祝います。お気軽にご参加ください。

中川 敏光 [Knock Down Music]
"Knock Down (ノックダウン)とは物流用語。部品を輸出して現地で組み立てること"の意。音の素材をその場に組み立てていくことによるサウンドパフォーマンス。

中村 達哉 [2、3秒前後]
動き出すとして、動きが外に現れるまで。実際に発せられた動きが観るひとに届くまで。それぞれに生じる時間差や距離感を巡って展開する、ダンスパフォーマンス。

真島 竜男 [Ten Animals / 十獣]
「十種類の動物が、同時に、同じ場所に存在する状況」=「Ten Animals (と呼ばれる動物)」を出現させるためのパフォーマンス。

10.27 | パフォーマンス、ダンス

前後 (高嶋晋一+神村恵) [脱脱出、反反応]
open 18:00 start 19:30 ¥1,500 / 学生 ¥1,300
あたりは暗くならないけれど、そのかわりに眼をつぶることはできる。では「自分のいない世界を直接見ることができない」や「自分自身の姿を直接見ることができない」という、日差しのなかにもある暗闇 (眼を開いたままでも存在する暗闇) には、どうやって対処すべきか?



特別出張企画!! べ切り迫る!!

CSLAB
CREATIVE SERIAL
LABORATORY

「代替energy」は未来のenergy?

そもそもenergyとはなにか? 既存の社会やアートが縛る、あらゆるしがらみを超えて、正面からでも斜めからでも、どんなフォーマットでも構わないから、あるべき未来のenergyを考えて、かたちにしてください。

CSLAB + blanClass スチューデントナイト vol.8 [代替energy] 参加者募集のお知らせ

※CSLABとは、東京造形大学内で学生主体に運営をする「もうひとつの大学」。これまでの大学教育の枠をこえ、さまざまな企画を実践している。

学校や専攻の枠を超えて実験的な表現の試行、交流の場として、これまでに7回おこなってきたblanClassの定番企画、スチューデントナイトが、2012年11月24日[土]、CSLAB(東京造形大学)へ出張することになりました。出張にあたって、初の試みとして参加者を公募します。書類選考はしますが、できるかぎり発表の場を提供します。応募者の人数があまりにも多かったり、物理的、時間的、技術的に不可能な場合は展示、出演できないことがあります。その場合でも応募者全員のプランは公開されます。

日程——2012年11月24日[土] 12:00-20:00(予定)
会場——東京造形大学内 CSLAB

テーマ——[代替energy](作品のフォーマットは自由)
応募資格——現役の大学、大学院、専門学校などに通う現役学生(専攻は問いません)
応募方法——blanClassの公式サイトから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたは郵送にて企画プランを提出、エントリーとします。
応募べ切——2012年10月1日(10月上旬に参加発表)

※必要な機材は基本持ち込み、交通費・制作費は自己負担をお願いします。
※書類の形式、会場の使い方、注意事項など詳しくは公式サイトで確認ください。

blanClass 拡張計画!! その1

秋からはじまる4つのシリーズは、1回1回が真剣勝負のワンナイトセッション。

2012年11月 スタート

杉田 敦

[ナノ・スクール《nano school》]

ナノ・スクールは、極小の学校。スケールや人数の意味ではなくて、コンテンツとして極小。教えられることを、これ以上ないまでに小さくしてみる。近代の理性は必要だったのか? じゃあ一回手離してみよう。本当の意味でそれができるのは、アートだけなのかもしれない。的などところから始めてみる!

日程——月1回 第3金曜日
時間——19:30-(2時間弱の予定)
料金——1,200円/学生1,000円
参加資格——高卒同等程度以上

杉田 敦 Atsushi SUGITA

美術批評。オルタナティブ・スペース art & river bankディレクター。女子美術大学教授。最近の著書に、「ナノ・ソート」(彩流社)、「アートで生きる」(美術出版社)、「アート・プラットフォーム」、「inter-views」(共に美学出版)がある。作品に「critics coast」(越後妻有アートトリエンナーレ、2009)など、キュレーションにポルトガルの現代美術展「極小航海時代」(JAM)などがある。また、アーティストの増本泰斗と、ディスカッション・プロジェクト、「Picnic」を行っている。

2012年11月 スタート

CAMP [translations]

日本語以外を話す人とも、通訳をしながら、話しかけていきたいと思っています。

日程——月1回 木曜日
時間——20:00-
料金——1,200円/学生1,000円
参加資格——特になし

2012年11月 スタート

CAMP [真夜中のCAMP]

明るくなるまで議論します。

日程——月1回 土曜日
時間——23:30-(朝まで)
料金——1,200円/学生1,000円
参加資格——特になし

CAMPについて

同時代のアートについて考えることを目的としています。アーティストやキュレーター、ディレクター、批評家、研究者、学生などに関わりながら、トークイベントや展覧会、パーティーなどを開催しています。
<http://ca-mp.blogspot.com/>

2013年1月 スタート

眞島 竜男

[どうして、そんなにも、ナショナルなのか? (仮)]

どうして、そんなにも、ナショナルなのか? ナショナル(国民的、国家的)なものの視点から近・現代美術を問う連続レクチャー。明治期の日本、18-19世紀のアメリカ、太平洋戦争中戦後の東アジア、現代の日本、の4つの時代と場所を主題に論じます。

日程——月1回 金曜日
時間——19:30-(2時間弱の予定)
料金——1,200円/学生1,000円
参加資格——高卒同等程度以上

眞島 竜男 Tatsuo MAJIMA

1970年、東京都生まれ。1990年-1993年、Goldsmiths College, University of London在学。1997年-2000年、スタジオ食堂参加。2000年-2004年、Bゼミ Learning System専任講師。主な個展に、「北京日記」(TARO NASU/2010年)、「The Incredible Shrinking Pizza」(Hiromi Yoshi/2005年)など。主なグループ展に、「六本木クロッシング2007: 未来への脈動」(森美術館/2007年)、「食と現代美術 Part 2 美食同源」(BankART1929/2006年)、「第6回シャルジャー・インターナショナル・ビエンナーレ」(アラブ首長国連邦/2003年)など。

blanClass 拡張計画!! その2

頭もからだも心もガンガンつかって、一緒につくる写真大学!!

BC写真大学

BCとは、プランクラスのBCであり紀元前のBCでもあります。私は、秦雅則です。この愉快な写真学校の校長です。今のところ、講師は一人もいません。ただし、ゲストは沢山呼べばいいでしょう。会いたい人がいれば教えてください。私が校長としてアクセクしましょう。貴方達が支払う学費は、すべて貴方達が見たいことをするために必要なお金となります。まあ、少しだけ、僕もプランクラスも間引きますが、それは微々たるものです。私達は愉快なことが好きだけの芸術家、もしくは美術家、ましてや写真家なのです。撮影がしたいければ、皆で繰り出しましょう。技術が知りたければ丸暗記しましょう。出版だって、展示会だってしたければバンバンやりましょう。勉強がしたいなんていう真面目な意見も取り入れましょう。その時にはつまらないことでも、ポーとしていると後に必要だったと後悔することだってあるのですから。ここでは、誰も無駄な後悔をしなくて済むように学びましょう。学びたいことは何なのか考えてみましょう。私は、校長です。貴方達が良い生徒であれば、この学校が上手いくということを確認しています。そして、私達は愉快な芸術家、

もしくは美術家、ましてや写真家となるのです。そのためにも、頭も体も心もガンガン使って、私達の学校を作りましょう。そして、いつかの卒業のときには、貴方達は貴方達の世界をもち時代をもつことを約束しましょう。

秦雅則 Masanori HATA

1984年福岡県生まれ。写真家。2008年に写真新世紀グランプリを受賞。2009年企画ギャラリー明るい部屋を設立。主な個展に、「シニカル」(明るい部屋・東京・2009)、「ネオカラー」(明るい部屋・東京・2009)、「幼稚な心」(東京都写真美術館・東京・2009)など、主なグループ展に「ソウルフォト2010」(Coex・ソウル・2010)、「動物の十人間的」(明るい部屋・東京・2010年)などがある。blanClassでは2010年8日[月]-13日[土]展覧会「目が見えない」、スライド&トーク「目が見える」、2011年5月16日-21日「明るい部屋以降/超写実写真発表会」、2011年12月、2012年3月、6月にかけて鷹野隆大×秦雅則「展示とトークシリーズ」などを行っている。

2012年11月開校予定! 随時受講生募集

日程——毎週水曜日
時間——19:30-(2時間弱の予定)
入会金——5,000円
会費(月謝)——9,000円(別途実費がかかります)
参加資格——高卒同等程度以上

【申込み方法】要項を子承の上、所定の申込書に必要な事項を記入し郵送していただくか、公式ホームページの所定フォームからお申込みください。初参加の際、受付にて入会金+会費(月謝初回分)の14,000円をお支払いいただき、手続き完了となります。

【申込書郵送先】〒232-0006 横浜市南区南太田4-12-16-2F blanClass
※申込フォームは<http://blanclass.com>でご確認ください。

BC写真大学 申込書

申込日	年	月	日			
氏名	性別		男・女	電話	どのようにしてBC写真大学を知りましたか?	
生年月日	年	月	日	年齢	歳	携帯
住所	〒			メールアドレス	秦雅則校長にひと言	
				最終学歴		
				写真・美術などの経歴		